

Go レミットオンライン送金サービスに関する規約

定義:

「**当行**」: 新生銀行をいいます。

「**お客様**」: 当サービスを利用するために当行に登録された個人または法人をいいます。

「**利用者**」: 個人のお客様についてはお客様、法人のお客様についてはお客様において当サービスを利用する方として当行所定の方法により登録されたマスターアカウント保有者およびサブユーザーアカウント保有者をいいます。

「**当サービス(Goレミットオンライン送金サービス)**」: お客様が当行から情報を入力し、コンピュータまたは当行が将来利用可能とするその他の手段によって当行に海外送金サービスにかかる指示を与えられるようにする、当行の提供するサービスをいいます。

「**パスワード**」: 当サービスの利用の際に利用者の本人確認をするのに使われる記憶可能な情報を含む、秘密の言葉や数字をいいます。

「**セキュリティコード**」: 当サービスご利用の際に、利用者の本人確認をするためのパスワード、ユーザーID(以下「ID」といいます。)、およびお客様の詳細情報をいいます。

「**ユーザーガイド**」: 当サービスに関して当行の提供するガイドおよび情報で、以下のものが挙げられます。

- 紙面に印刷されたもの
- ヘルプデスクを通じて口頭で伝えたもの
- 当サービスを通じてお客様に送られたメッセージ
- 当サービスの一部として提供されたオンライン情報およびヘルプサービス

「**マスターアカウント**」: お客様の会社において送金業務を担当する責任者として当行に登録された利用者のアカウントをいいます。

「**サブユーザーアカウント**」: マスターアカウント保有者に代わってお客様による当サービスを利用する権限を付与された者として当行に登録された利用者のアカウントをいいます。

「**お客様のシステム**」: 当サービスにアクセスするのに使われるお客様の電子機器をいいます。

当サービスの利用に際しての条件は以下の通りです。当サービスによりお客様は、オンラインで一括送金依頼その他当行所定の海外送金サービスを行うことができます。ただし、海外送金口座へのお支払いは別途お振込していただき、海外送金口座からお振込先への送金は海外送金口座への資金の入金が確認された後でのみ実行されます。

当サービスの利用は、当規約に服する他、「Go レミット海外送金取引規定」および「Go レミット新生海外送金サービスご利用のお客様の個人情報のお取り扱いについて」その他通常の Go レミットの契約条件およびプライバシーに関する方針の適用を受けるものとします。

お申し込みの前に当規約をよくお読みください。お客様が当サービスを利用することによって、当規約の条件に同意したものとみなされます。

1. アカウント

(1) マスターアカウント保有者は、当行所定の方法によって当行に届け出ることにより、当行から ID およびパスワードを受け取ります。マスターアカウント保有者は、サブユーザーアカウント保有者の ID およびパスワードならびにサブユーザーアカウント保有者が当サービスを通じて行うことができる海外送金サービスの範囲の設定、管理、変更および削除を行う責任を負います。

(2) サブユーザーアカウント保有者については、当行所定の方法によって当行に届け出た上で、マスターアカウント保有者において ID およびパスワードを発行することができます。サブユーザーアカウント保有者もまた当規約に従わなければなりません。

2. セキュリティー

利用者のみがアクセス可能、かつ、当サービスを通じて指示を出せるようにするために、以下のセキュリティ対策の手順に従ってください。

(1) 利用者以外の方は当サービスをご利用できません。

(2) 利用者はユーザーガイドに記載されているセキュリティに関する当行所定の手順に従わなければなりません。

(3) 認証されずに行われたおそれのある取引を確認した場合、直ちにユーザーガイドに記載されている電話番号にご連絡いただき、その旨をお知らせください。お客様ご自身の支払い履歴に間違いがあった場合は速やかに当行にお知らせください。

(4) 利用者はパスワードが他人に知られないようご注意ください。利用者はご自身のパスワードを当行のスタッフやヘルプデスクのスタッフを含め誰に対しても教えるはいけません。パスワードにご自分の生年月日、電話番号など第三者から推測されやすいものは避けてください。

(5) お客様のマスターアカウントのパスワードが他人に漏れたおそれがある場合、直ちにユーザーガイドに記載の電話番号にご連絡いただき、その旨をお知らせください。当行はお客様の新しいパスワードが設定されるまで、当サービスを中断します。お客様ご自身のサブユーザーアカウントのパスワードが他人に漏れたおそれがある場合は、お客様のマスターアカウントの保有者にお知らせください。また、マスターアカウントの保有者は直ちにサブユーザーアカウントのパスワードを変更してください。

3. お客様の指示の実行

(1) 当行は利用者のセキュリティコードを使い、それ以上の確認をいいたかずにお客様の指示を実行します。

(2) お客様の認証なしに、お客様のセキュリティコードによって行われた指示に関して、以下の場合、お客様は責任を負いません。

① お客様が当行に対してマスターアカウントのパスワードが他人に知られたことを当行所定の方法により通知した後に当該パスワードを用いて行われた指示

② お客様が当行に前号の通知をする前に行われた指示で、お客様に故意および過失がなく、かつお客様がセキュリティに関する当行所定の手順に従っていた場合

③ セキュリティーコードが当行の故意または過失によって知られてしまった場合

(3) 当行は以下の義務を負いません。

① 条件付きあるいは取り消す場合があるという前提で指示を受け付けること。

② 当行の通常の銀行業務慣行に従う場合よりも早く支払いを行うこと。

(4) 当行は、正当であると判断した場合には、指示の実行を拒否するか、あるいは書面等での確認を求めることがあります。

(5) 当行は、お客様の認証を得ていない可能性のある指示に対しては確認をとるよう努めます。そのため、処理の実行を拒否するか、あるいは取消しの手続きを取る場合があります。当行が合理的に行動している限り、お客様に生じた損害について当行は責任を負いません。

(6) 指示が出された時間や他の取引の処理状況等により、利用者が指示を出した取引すべてが直ちに処理されるとは限りません。

(7) 利用者は通常、ユーザーガイドに書かれている営業時間内であれば当サービスをご利用できます。ただし、定期メンテナンス、システム上の必要性、および

その他の状況によりご利用できない場合もあります。

4. 損害に対する責任

(1) 当行はお客様に対して直接的に与えた損失、かつ当行の故意または過失による不履行によって生じた損失に対してのみ、責任を負います。当行は間接的な損失に対しては責任を負いません。当行が責任を負わない例として以下のものが挙げられます。

- ① 認証されているものの、実際には他人によって出された指示に基づいて行ったもの(ただし、第3条第2項に定めるものはこの限りではない。)
- ② お客様のシステムと当サービスとの間の非互換性によるもの。
- ③ 当行の合理的な管理能力を超えた事情により当サービスが中断した場合、または、そのためにお客様の指示が遅れるか、処理されなかった場合。

(2) 当サービスでは、お客様は当行が取引を実施する日時を指定することはできません。当行に指示が届いたか否か、または指示が実行される日時を確認したい場合は、ユーザーガイドに記載されている電話番号にお問い合わせください。

5. 当サービスのご利用の終了

(1) お客様による当サービスの解約は、ユーザーガイドに記載されている電話番号にご連絡いただき、その旨をお知らせください。

(2) 当行の都合により当サービスの契約を解約または停止することがあります。その場合、当行は通常 30 日前迄にお客様に通知を行います。当行が必要と判断した場合、たとえばセキュリティ上の問題やその他当行との取り決めに対する違反があった場合などは、それより短い期間での通知、または通知を行わないことがあります。

(3) 24 ヶ月間当サービスのご利用がなかった場合、又は、お客様が海外送金サービスの利用を停止された場合、当行は当サービスの利用を停止します。

(4) お客様が当サービスの利用を終了しても、すでに指示が出されていて処理途中となっている海外送金サービスには影響しません。

6. 手数料

当行は、当行が別途定めるところにより、当サービスに対する手数料をお客様にお支払いいただくことがあり、また 30 日前に通知することにより手数料を変更することがあります。

7. 当行が当規約を変更する権利

(1) 当行は、当サービスまたは郵送によるお客様への通知により、当規約の条件を変更することができます。

(2) 当規約を変更する場合は、通常 30 日前に通知しますが、セキュリティの保護または当行の管理能力を超えたその他の事情により、通知期間が短縮される場合があります。お客様が通知を受け取ったのちに当サービスをご利用になった場合、お客様は変更を承諾したとみなされます(ただし、お客様が当サービスの利用を終了したいと判断された場合、第5条第1項に従っていつでも終了することが可能です)。

8. 取引内容の確認等

当行は、お客様の指示を正しく実行するため、また当行のサービス向上に役立てるため、お客様が当サービス上で行った指示を記録しています。またヘルプデスクへの通話をモニターし、記録することもあります。

以上